

喜びの タネまき新聞

読む人の幸せを心に願って作る

no.441

今回の表紙は「あなたの喜ぶ顔」フォトコンテストで優秀賞になった3点です。



「一緒にいいね」 神奈川県 大久保 淳



「ハイ・ポーズ」 沖縄県 渡辺清華

「金婚」 沖縄県 長堂とみえ



花のついで

愛媛県新居浜市の小野由生枝さんは八三歳。いまは女性だけで育てたダスキンの店を息子さんが継いでいますが、月に一度、長いあいだ苦楽を共にしてきた元ハーティさんたちと会を開いて楽しんでいます。「私の生涯はこの仲間なしにはありえなかった」と会をはじめてもう十年以上。まるくテーブルを囲んでお弁当を開いて、話題は仲間の消息、仕事を引き継いだ娘のこと。時には花見だったり、美味しいものを食べる会だったりですが、仕事の思い出がみんなの共通の話題です。初めて飛行機に乗れたし、東京にも外国にも行った。客船でのクルージングに招待された、楽しかった旅行の話などつぎることがありません。

創業者鈴木清一は「愛の店」には、ダスキンの仕事を離れてもこうして集まれるような「愛の家」をつくりたいと考えていました。仕事が生きがいになってほしい。自分だけが喜ぶのではなく、喜びを分かち、かなしみも分かち合う人生の仲間であってほしいと願っていたからです。参加者は二十名ほど、平均年齢は七〇歳を越えています。この会は「花のついで」と名づけられています。

株式会社ダスキン社長

伊東美幸

「あなたの喜ぶ顔」フォトコンテスト



「あなたの喜ぶ顔」フォトコンテスト

- テーマ 日常生活の中での家族や恋人、友人などの幸せな笑顔のシーン。
- 応募期間 2006年7月10日(月)～9月30日(土)消印有効
- 作品 ◎未発表(過去に何らかの写真コンテストに応募したことがない)の写真でプリントに限ります。
 - ◎カラー・モノクロいづれでも結構です。
 - ◎応募作品の撮影時期は問いません。
 - ◎組写真・合成写真や撮影会等の写真はご遠慮ください。
 - ◎デジタル写真はプリントで出力したものに限り(記憶媒体の郵送はご遠慮ください)
 - ◎写真保護のため作品は1点ずつ袋などに入れてください。
- サイズ ◎サービス版(8.9cm×12.7cm)以上、四つ切りワイド(25.4cm×36.5cm)以下 ◎台紙は付けなくても可。
- 応募点数 応募点数は問いません。
- 応募資格 どなたでも応募できます。
- 応募方法 所定の応募票(P7)に掲載)に必要事項を記入の上作品に同封して応募先まで郵送してください。
- 発表 「喜びのタネまき新聞」ならびに、ダスキンホームページ(www.duskin.co.jp)にて発表(11月中旬以降の予定) 入選者には直接通知をします。
- 賞 優秀賞10万円3名、入賞1万円10名、佳作5千円37名。
- 作品返却 応募作品は返却いたしかねますので、ご了承ください。
- 注意事項

- ※二重応募、類似作品と認められた場合は、入選を取り消すこともあります。
- ※入選作品の第一使用权は(株)ダスキンに帰属します。
- ※入選作品は新聞など広告で再使用する事があるほか、(株)ダスキンが制作、発行し、一般に提供する新聞、電子媒体による情報サービスにも使用させていただくことがあります。
- ※肖像権侵害等の責任は負いかねます。応募に際しては必ず本人(被写体)の承諾を得てください。
- ※応募いただいた個人情報は、作品(写真)の収集管理及び選考に利用させていただきます。
- ※入選者の個人情報は上記媒体にて「氏名・都道府県名」のみ公表させていただきます。
- ※未入選者の個人情報は、第三者に提供・公表することはありません。
- ※個人情報に関するお問い合わせや、ご自身の個人情報の開示・訂正・利用停止についてはダスキン東京広報室「あなたの喜ぶ顔」フォトコンテスト事務局までご連絡ください。

アイス食べて帰る。
佐賀県東与賀町 江川法子



幸せすぎて♪
徳島県羽ノ浦町 井谷明美



おばあちゃん大好き!
千葉県柏市 小林教子



応募票は
7ページです。

- 応募先 〒163-0232 東京都新宿区西新宿2丁目6番1号 新宿住友ビル内郵便局 私書箱 第47号 ダスキン東京広報室 「あなたの喜ぶ顔」フォトコンテスト事務局 Y係
- お問い合わせ先 同事務局 03(5909)6703 (受付時間 月～金 10:00～17:00) ※土、日、祝日を除く

ダスキンのスローガン「あなたの喜ぶ顔が見たい」をテーマに、第三回写真コンテストをおこないます。家族や恋人、友人などの幸せな笑顔を送ってください。暮らしの中で見つけた自然な笑顔は、いつまでも心に残って、見るたびにうれしくなります。笑顔なら、ドーンと大歓迎。ご応募、お待ちしております！

散歩の途中、町の集会所の近くで石に描いたイラストが目にとまりました。なんだか嬉しくて、スキップしたいような気分になりました。楽しい気持ちで伝染しますね。読者の中から、2人のアーティストをご紹介します。



私は石絵の阿部いづみさんのファンで、時間があれば招き猫を描いています。他にフクロウ、おじぞうさん、子供達のリクエストでアンパンマンやドラえもんも描きます。家はクリーニングの取次店ですが、お客様に差し上げては喜ばれ、今では看板も招き猫だらけ。猫屋敷とよばれる妙なお店です。一度、来てみんちゃい！

岡山県津山市 日下美千枝



遠くに住んでいるかわいい姪（5歳）が帰省すると、一緒に絵を描いたりして楽しむ私。昨年は古い靴を入手して、アクリル絵の具で絵を描いてプレゼントしました。右足は季節、左足は空。紐は色違いの毛糸です。姪からはすぐに、喜びのポーズの写真のメールが来ました。

大分県日田市 佐藤日出美



桃が赤く熟れたら「白桃のコンポートのゼリー寄せ」

熟れた桃を皮ごと煮込んだコンポートに、ゆるゆるのゼリーを合わせ冷たく冷やした夏向けデザート。クコの実の甘ずっぱい香りと辛口スパイスをピリッと効かせてエスニック風に仕上げました。たわわに実った桃の美味しさがギュッと凝縮。ほっぺたが落ちるかも…

◎コンポート(果物のシロップ煮)

鍋に水800ccとグラニュー糖150gを入れて沸かす。固く絞ったぬれ布巾で桃2個の表面をやさしくこすってうぶ毛をとる。鍋を弱火にしたら白桃、レモン汁大さじ1、5mm弱の輪切りにしたレモンのスライス5〜6枚、お好みで、シナモンスティック2分の1本、アニス1個を加え、落し蓋をし、途中ひっくり返しながら25分〜30分煮込む。鍋から桃をあげ、皮を剥き半分に割りタネをくりぬく。煮汁はボールに600cc分取り分けておき、残りの煮汁の一部でクコの実15粒をもどしておく。レモンのスライス、スパイス類はざるにあげ、水気を切っておく。

◎ゼリー

板ゼラチン4枚(6g)を2〜3分水につけてふやかす。取り分けた温かい煮汁にふやかしたゼラチンを入れてゴムべらで混ぜ、細かいクズを取り除くため茶こしでこす。

◎仕上げ

半分に切った桃のコンポートとレモンスライス、クコの実をボールに入れ、ゼリー生地を流し入れ冷蔵庫で冷やす。好みの器に盛り、ミントの葉やアニスを飾って出来上がり。お子様には、シナモンの代わりにバナナビーンズ、クコの実の代わりにブルーベリーもおすすすめ。うっすらピンクのゼリーと白桃の色味が涼しげな夏のとっておきデザート。



【おやつ時間】

パパッと作れる簡単スイーツ

きたむらさちこ
お菓子研究家



築79年の長屋の一角に
借家住まいして3年。
東京の下町、路地裏ワールドにある
古道具屋、「ウナmano」に
佐藤柚香さんを訪ねました。

「古いものが好きですか？」
笑顔のくらしが好きですか？」



「ウナmano una mano」は、スペイン語で「手」の意味。

薬屋さんにあった棚を塗ってリメイク。
古材と古道具の店は金曜は2時、土曜
は12時の午後のみ開店。



あっさり与自然にしたいことをする。
確かな手応えの暮らしは、ゆるやかな
時間の中でしかできないのかも。

古道具屋「ウナmano」

ふわっと飛んできてもとから居るみたいに咲いている花です

東京は向島、鳩の街といえは昔は遊郭のあった所と、角の寿司屋の旦那が小粋に
言っていました。

商店街はなんととはなしにカーブして、自転車がすれ違うのがちょうど細さ。
肉屋、総菜屋、魚屋、喫茶店、蕎麦屋、寿司屋と何でもあり、もちろん風呂屋に質
屋もある。それらが、みんな昭和初期の古色蒼然たる輝きをもっているのです。と
くに夕暮れ、紅白の提灯がともる時刻には。

東京に住んでいても、路地裏に行ったことのない人、だらけになってしまった今の
日本は、結構なモンと言えるのかしら、いやいや、金ピカでスマートだけが良いワ
ケない。下町の魅力ったら、やっぱり人情でしょと思うのです。

その証拠に街に歩み入るとすぐ「どこへ行かれるの？」と聞かれ、こちらにも自然





に「古道具屋へ」と答えてました。

そのおばちゃんに連れて行かれた「ウナマノ」は、金曜と土曜の午後だけ開く気ままなお店。店主の佐藤柚香さんは下町育ちではなく、風まかせに飛んできて路地裏に根をおろし、花を咲かせたような存在。今夏で3年目になります。

「住まいと設計士の仕事場と、古道具屋の店を一度に3つはいいなあ」と思って住み始めたとか。昭和2年築の葉屋さんの古い棚にディスプレイされた、お洒落な古い雑貨にワクワクしていたら、

「古いものが好きですか？」と佐藤さん。長い時をかけて培われてきたものを大事にしておしむ、そういう口調でした。

この家はたまたま佐藤さんが近所に遊びに来て、「空き家そうだね」と住みたくなり、大家さんを紹介してもらって即決。100平米以上の広さを仲間の女性と一緒に3カ月かけて大改修し、毎週末に通って根性で造り上げたもの。柱や梁、建具は古い民家のものを使い、思い通りにデザイン。難しい天井や壁は友人の左官屋さんに頼んで、築79年の長屋の一角が気持ちのよい空間に生まれ変わりました。

売れても売れなくても世間話。ひとが来て泣いたり笑ったりする店

学生の時からスペイン、カンボジア、ベトナムや中国を訪ね、国内も旅してまわった佐藤さん。

「バブルがはじけ、震災や地下鉄サリン事件が起きた頃でした」浮遊しつつ、確かなものを求めていた時代かもしれない。また、多様な人や暮らしが共存する路地には、心地よい温かみがあったのかも。「で、なんとなく」

話していたら、「ぼく、ここが好き。金曜日待ち遠しいんだ！」と、こうへい君が駆け込んできました。「その魚屋がおばあちゃんち。柚香ちゃんカッコいい」というコーヒー好きの小学生、こうちゃんです。

いつの間にか現れた近所のおばあちゃんが、「こうちゃんは頭がいいんだよ」と説明してくれ、「アタシも一人じゃ寂しいから、ここに来るといいの。こちら、若い人がいなくなっちゃって。柚香ちゃんが居るとうれしいうね」と言うのです。

そうこうする内、こうちゃんの「天敵おばあちゃん」も新たに出現し、かなり激しいこぜりあい。小学生に大人がイジメられて「あなたには良いことは起きない！」と捨てぜりふのおばあちゃんを追って、佐藤さんも飛び出して行き、しばらくして腕を組んで戻ってきました。「なんも悪いことしてないよ」と慰められて、おばあちゃんは涙ぼろり。なんだか落語の世界のようでした。

男性のお客さんもいます。デザイナーのお兄さん、常連さんらしいおじさん。けれど世間話ばかりで商いの感じはありません。「あんまり売れてもね。仕入れないといけないので困るし」などと言いつつ、佐藤さんはおしゃべりをしています。

「ウナマノ」って不思議です。ここにある雑貨を売りたいからではなくて、ここに帰って来たい人ばかりになってしまわず、そう思いました。

路地裏に来たみんなの中で、いつまでも自然に、笑顔を絶やさず、ふわっと花開いている佐藤さん。またどこかへ、風とともに、自由に飛んでいってしまうかも、そんな感じが魅力です。



「こうちゃん、豆ひいてるんだよね」「キリマンジャロが好き」タメロで古道具好きの小学生なんてそういない。





リリ状態

兵庫県三田市

山下洋子

25歳で結婚。すぐ長男を授かりましたが、次はなかなか。長男は七夕の短冊やサンタさんへの手紙に「弟をください」としばらく書いていました。

そのうち私に気を遣い「ばく、お母さんを独り占めでいいよ」なんて言い、すっかり諦めたころ、8歳違いで次男に恵まりました。

「年齢が離れると遊ばない」とよく言われますが、2人はとっても仲良し。兄の学級日誌には、「こう見えてもぼくは弟思いです。幼稚園でお友達とちやんとやってくるか心配です」とあり、ほのほのしました。弟は「お兄ちゃんはすごいんだぞ」とみんなに自慢。母の私は大満足です。

今は「川の字」ならぬ「リ」の字が2つ「リリ」状態で毎日寝ていて、朝方は寝返りもうてないほど、両側から2人がぐっついてきます。「たまにはのびのび寝たいなあ」と思いつつ、こんな時期は今しかないと幸せをかみしめています。

——ちよ(ちよキモチ)もこーさん



おいくつ?!

千葉県旭市

鳥飼顕照

中学生の孫娘が体育の授業で足先を傷め、靴もはけなくなったので、病院へ連れて行った。診察が終わわり、片足で跳ねながら出てきた孫が、

「お医者さんったら、ひどいんだよ……」と言う。先生が「お母さんと来たの、お父さんと来たの?」と聞くので、祖父だと答えると、「おいくつ?」

「75歳です」と言う」と……」

そのあと、「大丈夫かな」とつぶやきながら看護婦に目配せすると、看護婦はすぐ部屋を出て私を観察してきたという。そう言えは待合室の私を見に来たなと思ひ当たる。

「大丈夫のようですよ」そうか、それならいいけど「診察室でのやりとりを話す孫の、ちよと興奮ぎみの顔に笑いながら、私はその時、改めてわが年齢の意味を再認識したのであった。

——なんの、なんの。友達もみんな、たったの75歳。



自立

兵庫県丹波市

竹知真由美

「おかあさん、あの料理どうやって作るの?」と、今年の春から金沢に住む、大学一年の息子から電話がありました。仲の良かった地元の友達と同じ大学へ通い、自分のアパートでいつも一緒に夕飯を食べている様子。作るのは俺、片付けるのはあいつと分担も決まっているようです。

結構手間のかかる料理を作っているようで、昨日はちらし寿司と味噌汁、今日はナスのはさみ揚げ大根おろし付きとほうれん草のおひたし。また別の日は、天ぷらで天つゆは自家製等々。

一緒に金沢のスーパーへ行った時、これとあれも買っといたらと言うと、これは日曜日に安売り、あれは火曜日の特売でと、主婦顔負けの節約ぶり。「ひよことして家計簿も付けとるの?」と聞くと、「バッチリ! 光熱費は二人で折半」との返事に、今まで家のことも料理もしたことなかった子が、変れば変わるものだとつくづく思いました。

こんどは主人が一人暮らしをして、変わってくれないかな……。

——とつ(とつ、あなたもキッチン・デビューー)



大きな夢

神奈川県藤沢市

福島ハツ江

近くに住む小4と小2の孫娘はよく遊びに来てくれます。先日、いつものように遊びに来たときのこと。近所のスーパーへ行った帰り道に空き地がありました。

その前でふたりが立ち止まり、

「おばあちゃん、大きくなったらパティシエになってこの土地にケーキ屋さんやパン屋さんを建てるから買いに来てね!」と言うんです。子供って大きな夢を持っているんですね。何かほんわか胸が熱くなりました。これから夢も変わるかもしれませんが、「夢を追いかける人は必ずかなう」と信じて応援したいと思いました。私も負けずに、日本一周の夢を目指しましょうか。

——タネまき新聞のスイーツコーナーも参考にしつね。

自分のほうから誠意を示す人間一人ひとり顔が違い、考えが違うのです。それを自分の考えと同じでないからといって、他を責めることはまちがいです。むしろ自分と同じ考えの人があれば、それはめずらしいことであり、ありがたいことであり、これを「同志」として、いっそう仲良くすることです。

鈴木清一

ホームページでも

「喜びのタネまき新聞」がご覧いただけます。ホームページのアドレスは <http://www.duskin.co.jp>

フォトコンテストに合わせて「笑顔」をテーマにしたお便りも募集します。思わず微笑んでしまうような心温まるお便りを、編集室までお送りください。

キリトリ線

「あなたの喜び顔」フォトコンテスト応募票				Y
氏名	ふりがな	性別	男・女	歳
		年齢		
自宅住所	〒 TEL () -			枚
	都道府県	市郡		
同封された写真枚数	ダスキン関係者の方は、店名をご記入ください。			

●送り先

〒163-0232
東京都新宿区西新宿2丁目6番1号
新宿住友ビル内郵便局 私書箱 第47号
ダスキン「喜びのタネまき新聞」編集室
電話 03(5909)6703
e-mail:koho4@mail.duskin.co.jp

●4-5ページの「ウナマン」の連絡先

金、土の午後のみ開店 TEL: 03-3612-0586
ホームページのアドレスは www.taiyo31.com/unamano/

決定的瞬間！



仙台市 鈴木かつこ

●みなさまからお寄せいただいたお話をもとに新聞をつくってまいります。

どうぞ、あなたが体験した嬉しかったこと、誰かに聞いてもらいたいことなど、身近な話題をお寄せください。

●投稿には、名前、年齢、職業、住所、電話番号、現在ご利用のダスキンの店名をお忘れなく。紙面やホームページでご紹介させていただいた原稿や写真にはお礼をさせていただきます。

あなたのお便りや写真をお寄せください



幸せに

横浜市 中村和子

4歳でお姉さんになった孫は、生まれたばかりの妹が可愛くて仕方ありません。手が放せない母親に代わって、受話器をとったり、物を取って来て渡したりとお手伝いの出来るお利口さんです。でも本当は少し無理をしているのかも知れません。ある日のこと。会社がお休みだったお父さんに、「パパ、抱っこして…」と小さな声でおねだりして膝にのせてもらい「幸せになろうね」とささやいたそうです。

パパである私の息子は、その時の様子をそれはそれは嬉しそうに私に教えてくれました。

私も子育て真っ最中の若い家族が、日々健康で幸せに暮らせるよう、少し離れたところから見守っていきたくと思っています。

——かわいいな。花マル、百点満点あげちゃう。



もらい風呂

愛知県岡崎市 後藤嘉男

何にしても古色蒼然たる話である。大正生まれの、私の自分史の「こ」までである。

土間で藁草履を作っていた母が、「嘉男！終わったで、お隣へお風呂をもらいに行く」と私を誘った。門を出る。灯りが遠く近くチラホラ見える。

「今晚はお風呂をよんでおくれましょう」。

「さあさあ、お上がり」とお茶を出してくれる。

話は田植え話ばかり。一時が過ぎ、

「さあ、空いた。坊お入り」と…。

お風呂は裏庭の露天にある置き風呂(そ風呂)であった。箱が踏み台、脱衣は庭の木、灯りはカンテラ、洗い場はない。薄暗い中、湯に浸る。空の星がきれい、ホタルが飛ぶ。一筋、星が流れる。フクロウが鳴いた。小さい頃の初夏の夜である。

——へそ風呂って五右衛門風呂？ 今度教えてください。

**冷蔵庫は、
ニオイを密封する箱でもある。**

冷凍庫用。

低温でも、肉や魚のイヤなニオイをすばやく脱臭する優れた性能。

冷蔵庫用。

悪臭をカット。食品の自然な香りは取りにくくなっています。

ダブル脱臭効果。

物理的脱臭と化学反応脱臭の効果で悪臭成分を強力に取除きます。

取り替え時が、ひと目で。

交換時期がくると緑の薬剤が小さなかたまりになります(冷蔵庫用)。



脱臭剤 おおいぶぎょうセット
(冷凍庫用・冷蔵庫用各1個)

お客様標準価格 **840円** (税込) [3-5076]

・サイズ:冷凍庫用/13.1×4.5×2.7cm・冷蔵庫用/13.1×8.3×2.7cm

■脱臭剤冷凍庫用 おおいぶぎょう(容器・薬剤)

お客様標準価格 **378円** (税込) [3-5027]

・サイズ:13.1×4.5×2.7cm

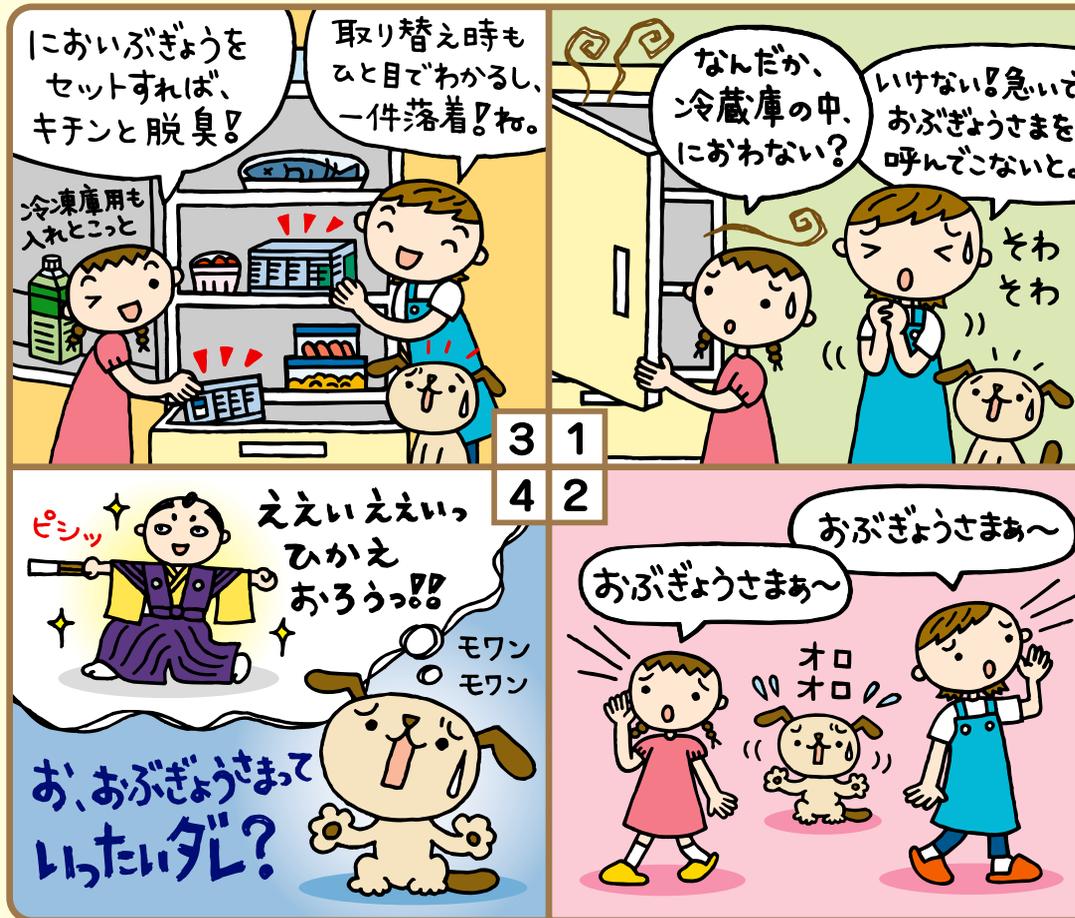
●補充用薬剤(別売)252円(税込) [3-5031]

■脱臭剤冷蔵庫用 おおいぶぎょう(容器・薬剤)

お客様標準価格 **483円** (税込) [3-5039]

・サイズ:13.1×8.3×2.7cm

●補充用薬剤(別売)357円(税込) [3-5042]



●この新聞をお届けしているのは

※この用紙は再生紙を使用しています。

株式会社 ダスキン

発行: 広報・広告部 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33

編集: 「喜びのタネまき新聞」編集室

〒163-0232

東京都新宿区西新宿2丁目6番1号 新宿住友ビル32階(私書箱47号)

TEL:03-5909-6703 FAX:03-5909-6771

【お客様の個人情報のお取り扱いについて】

お客様の個人情報は商品のお届けや回収、サービスの提供に利用させていただきます。また、後日商品やサービスのご案内をさせていただく場合があります。なお、お預かりした個人情報はダスキングループ企業と加盟店の範囲内で利用させていただきます。配送業務等で個人情報を外部企業に委託する場合は、弊社の厳正な管理の下で実施します。

個人情報に関するお問い合わせや、ご自身の個人情報の開示・訂正・利用停止については、下記ダスキコールセンターまでご連絡ください。

■ダスキコールセンター

0120-100100 www.duskin.jp